

01 中央日報 2020. 4. 14**【 大韓体育会と体育団体「体育要請文」を公表 】**

大韓体育会（会長イ・ギフン）は最近、会員種目団体と体育施設関係者、市道体育会長、公共スポーツクラブ関係者などの順に懇談会を開催し、最近強化された「社会的距離置き」施行に伴うスポーツ界被害現況と支援対策などを議論した。

大韓体育会とスポーツ界の関係者は懇談会を通じて、コロナ 19 の長期化による苦痛を吐露し、国会と政府レベルの行政・財政的支援を切に要請する「スポーツ人要請文」を公表した。

◇アピール全文

健康だけでなく生計をも脅かすコロナ 19、スポーツ界従事者のための積極的な支援を切に訴えます。

コロナ 19 の世界大流行の局面が長期化しています。大韓民国は未曾有の危機の中でも全世界に模範を示して感染症克服のために最善を尽くしています。政府と防疫当局、医療スタッフの驚異的な労苦と献身はもちろんのこと、すべての国民が経済的困難に耐えながらも、コロナ 19 の拡散を防ぐために積極的にキャンペーンに参加するなど、成熟した市民意識を示しています。

私たちスポーツ人も率先して衛生と予防の心得を守って大規模な大会やイベントを延期するなど、コロナ 19 終息の先頭に立っています。

しかし、コロナ 19 の長期化によるスポーツ人の苦痛は計り知れません。特に民間スポーツ界の従事者が最も大きな直撃弾を受けています。

政府は集団感染のリスクが高い室内スポーツ施設などに一時的な運営の中断を勧告し、これに該当する施設は全国 2 万 4 千ヶ所にのぼります。この他にも 100 以上の公共スポーツクラブはもちろん、数多くのスポーツ機関や施設が休場をして力を集中しています。

しかし、休場が長期間持続されるなかで、社会的距離置きに参加したスポーツ界従事者の生計が脅かされており、これに対する実質的な対策が急がれる状況です。

大韓体育会と各種体育団体はコロナ 19 の終息のために力を尽くしているスポーツ界の方々のため、以下のように切に訴えます。

コロナ 19 の余波は国民の健康の大切さを改めて悟らせました。国民健康増進に実質的に貢献するスポーツ界に対して国会と政府の細心の支援策を用意してください。

現在、政府と自治体、公共機関は所有する建物賃料を引き下げています。同じように企業と民間分野でも、体育施設をはじめとする零細設備や業者の家賃を一時的に引き下げることがを勧告するなど、隣人と共生できる方法を講じてください。

日常的な免疫力を増進するには日常のスポーツ活動が必要です。発熱チェック、防疫などの社会的距離置き遵守事項を履行するスポーツクラブについて制限的な開場を許可してください。

コロナ 19 で未執行となった体育関連予算を経済的な支援が必要な零細スポーツ人に支援できるよう、すぐに、かつ実効性のある対策を立ててください。

今年は大韓民国近代スポーツ 100 年を迎える年です。長い歴史の中でスポーツは国家的危機状況に常に力を集めてきました。スポーツで健康な大韓民国、スポーツで幸せな大韓民国を作るために全力を尽くすス

スポーツ界従事者に向けた国民の皆様の変わらぬ関心と声援をお願い申し上げ、スポーツ人は国民皆様と苦痛を分かち合い危機を一緒に乗り越えていくことを約束します。

2020年4月14日

大韓体育会役職員

17市・道体育会

競技団体連合会

全国スポーツクラブ協議会一同

02 KBS ニュース 2020.4.14

【 “体育業界面談を通じて、コロナ19追加支援策を準備中” 】



スポーツ界がコロナ19被害に対する政府の積極的な支援を必要とするアピールを出したことと関連し、政府は関連業界と協議して追加支援策を用意すると明らかにしました。

文化体育観光部の関係者は、「最近、継続的な体育業界との面談などを通じてコロナ19被害と苦労などを聞いている」とし「今すぐ緊急支援事項とコロナ19終息後の業界活性化方案などを議論している」と述べました。

文体部はコロナ19被害支援のための運営資金特別融資予算200億ウォンを支出し、先週追加で300億ウォンを用意しました。

これと関連して文体部関係者は「防疫物品支援予算も企画財政部と協議してコロナ19で未執行だった予算を回して執行したもの」と説明し、「コロナ19関連予算を追加で確保するために企画財政部と協議している」と明らかにしました。

発熱チェックと防疫など社会的距離置き遵守事項を履行するスポーツクラブの制限的開場を許可して欲しいというスポーツ界の要求に対して、文体部関係者は「今でも体育施設の利用は全面禁止事項ではないが、防疫を最優先とせざるを得ない状況が反映したもの」と言いました。

*出典：<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4424590>

03 文化日報 2020.4.13

【 体育サテン、コロナ被害業者500億ウォン支援 】

国民体育振興公団は新型コロナウイルス感染症（コロナ19）被害者に特別融資500億ウォンを支援する。国民体育振興公団は「3月12日から4月3日までコロナ19被害企業を対象に受け付けた特別融資の申請を2回にわたって審査し通知した」と13日、明らかにした。コロナ19で資金難に苦しむスポーツ産業体をサポートするために実施した今回の融資支援事業は計1229の企業が申請した。公団はこのうち1045社

に 500 億ウォン規模の融資決定をし、最終通知した。2次特別融資支援対象に選ばれた被害業者は、決定通知書を持参して銀行で融資審査を受け、早ければ16日から貸出金を受領することができる。

公団はコロナ19被害業者対象の特別融資500億ウォンを支援し、下半期に100億ウォンを追加で支援して1061億ウォン規模の融資事業を実施する予定である。公団は先月461億ウォン規模の一般融資1次支援を実施した。

公団はまた、元金償還が1年以内に到来する145億ウォンの既存の融資851件の満期を12ヶ月に延長して返済を猶予する予定である。公団は「多角的な支援をするために、今年2月19日からコロナ19克服スポーツ企業緊急支援センターを運営し、特別融資や法律・労務コンサルティング及び同伴成長モール出店を通じた販路開拓などを支援している」と報じた。

(訳注：同伴成長モールは中小企業流通センターが運営し、大企業・公共機関職員に支給される福祉ポイントで中小企業の商品を購入できるようにしたオンラインショッピングモール。売上約250億ウォン)

*出典：<http://www.munhwa.com/news/view.html?no=20200413MW140857150298>

04 スポーツソウル 2020.4.16

【 公約履行報告書受付、ソウル市体育会長“すべての公約実現に最善” 】



民選1期ソウル特別市体育会長の公約履行準備委員会が16日、公式活動を終了し、ソウル特別市体育会に準備委員会報告書を渡した。

この日の午前11時、ソウル特別市体育会会議室で開催された最終報告会で朴ウォンハ・ソウル特別市体育会会長をはじめ、李デテク委員長（国民大学教授）、金サン Chol 委員（国家財政研究所研究委員）、崔ジュンヨン委員（文化連帯文化政策センター所長）、ハム・ウンジュ委員（文化連帯執行委員）など準備委員会に参加した委員が出席した。

今回配信された報告書には、ソウル市民が誰でも健康で幸福に参加するスポーツを作るという意味から「人中心」、「土台を堅固に」、「市民の幸せ」という公約ビジョンと「ソウル市スポーツ基本条例の制定」など16公約について20の細部課題履行戦略、および公約履行性向上のための勧告課題などが入れられた。

朴ウォンハ・ソウル特別市体育会会長は「最初の民選ソウル特別市体育会公約履行報告書を受け取り期待される。ソウル市とソウル市議会との協議を介してすべての公約が任期内にすべて実現できるように最善を尽くしたい。会員種目団体と自治区体育会などに直接訪ねて行って、現場の意見を十分に反映することができるように、報告書に記載された細部課題履行戦略などを説明する計画だ」と述べた。

*出典：<http://www.sportsseoul.com/news/read/906478>

05 [スポーツ界あれこれ]

韓国プロサッカー選手協会

韓国プロサッカー選手協会がコロナ 19 の影響で K リーグ開幕が無期限延期された中で、選手の年俸削減問題と関連して公論化を提案した。

入場料収入、中継権料、広告収入などでの財政問題が全世界で共通の課題であり、問題を解決するためのガイドラインの提示、給与削減問題で公開討論しようという意見を公式発表した。

仁川広域市体育会

16 日仁川市によると最近、市体育会を対象として総合監査を実施した結果、本処分 33 件、現地処分 8 件など計 41 件の不適切な事項を摘発した。食事代虚偽精算、不適切な補助金事業の精算などがある。

KB 国民銀行

KB 国民銀行は 13 日、労使協議を通じて社員体育文化行事費約 35 億円を在来市場のオンヌリ商品券で支給することを決めた。新型コロナウイルス 19 で困難に直面している小商工人と地域商圈を生かそうとする趣旨であり、実質的な現場支援策を継続して行うと明らかにした。

(訳注：オンヌリ商品券は地域の商圈活性化のために 2009 年から発行されており、紙券・電子ギフト券・モバイル商品券の形態で購入できる)

京畿道教育庁

16 日、小学校 4～6 年生と中・高校 1～2 年生を対象とした 2 段階のオンライン授業が実施された中、京畿道教育庁が議政府回籠^{フュリョン}小学校のオンライン始業姿をマスコミに公開した。

ズーム (ZOOM) プラットフォームをベースにした授業を進めて学生の希望を聞いてみたところ、“テストで 100 点取る”、“友達と親しく過ごす”などの意見があったが、コロナ 19 に閉じ込められて過ごす時間が長い学生から最も多かった希望は「スポーツ活動をしたい」であった。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 407 号 代表：金商汎

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 효령로 230 승정빌딩 407 호대표：김상범

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com